

R6公衆栄養学実習 I

	A優れている	B普通	C努力を要する	D達成できたとはいえない (1つでもあると不合格)
個人や集団における代表的な食事・栄養調査方法を理解し、栄養評価のためのデータ収集ができる(D)。	代表的な食事・栄養調査方法について深い理解があり、栄養評価のための食事調査(データ収集)を効果的かつ適切に行うことができる。	代表的な食事・栄養調査方法について理解があり、栄養評価のための食事調査(データ収集)を適切に行うことができる。	代表的な食事・栄養調査方法について基本的な理解があり、栄養評価のための食事調査(データ収集)を行うことができるが、まだ熟達していない。	代表的な食事・栄養調査方法に関する基本的な理解が不十分であり、栄養評価のための食事調査(データ収集)が十分できない。
地域における公衆栄養施策を通じて公衆栄養マネジメントの実際や公衆栄養学的な現状や課題を説明できる(D)。	公衆栄養学的な現状や課題に深い理解があり、公衆栄養マネジメントの知識が十分あり、提案や改善に対する洞察力がある。	公衆栄養学的な現状や課題について適切な理解があり、公衆栄養マネジメントの知識が十分ある。	公衆栄養学的な現状や課題について基本的な理解があり、公衆栄養マネジメントの基本的な知識がある。	公衆栄養学的な現状や課題についての理解や公衆栄養マネジメントに関する知識が不十分である。
集団の栄養摂取状況を把握し、地域栄養診断および地域栄養改善計画が立案できる(D)。	集団の栄養摂取状況を詳細に把握し、地域の特定のニーズや課題に合わせて、包括的・効果的な栄養改善計画を立案できる。	集団の栄養摂取状況を適切に把握し、地域栄養診断や改善計画を効果的に立案できる。	指導教員の手厚い助言のもと集団の栄養摂取状況を基本的に把握し、地域栄養診断や改善計画の一部を立案することができるが、十分ではない。	集団の栄養摂取状況を把握する能力が不足しており、地域栄養診断や改善計画の立案ができない。
自分の意見をまとめ他者と協働し、地域栄養改善計画を立案できる(D)。	自分の意見を明確にまとめ、他者と円滑に協働して地域栄養改善計画を立案する能力があり、リーダーシップを発揮して計画を実行することができる。	自分の意見をまとめ、他者と協働して地域栄養改善計画を立案する能力があり、十分なコミュニケーションと連携を実現できる。	自分の意見をまとめる能力や他者と協働するスキルがあるが、まだ熟達しておらず、計画の立案において他者との連携が不十分であり、貢献が少ない。	自分の意見をまとめる能力や他者と協働するスキルが不足しており、地域栄養改善計画を立案することができない。

※評価項目内の(D)は、ディプロマポリシーと対応する項目を指す